



みやがや

がっこうきょういくもくひょう
～学校教育目標～

じぶん み みらい こ
自分を見つめ ともに 未来をつくる子

- 【知】 ひび あ ゆた まな なか じぶん み つめ ともに たんきゅう するこ
響き合う豊かな学びの中で 自分を見つめ ともに 探究する子
- 【徳・体】 たくましく しなやかな こころ からだ をもち たが たいせつ ともに けんこうな 生き方をつくる子
たくましく しなやかな 心と体をもち 互いを大切にし ともに けんこうな 生き方をつくる子
- 【公・開】 ひと かが あ まち ほこ あたらし だ だ こ
人やまちと関わり合いながら まちに誇りをもち ともに 新しい価値をつくり出す子
人やまちと関わり合いながら まちに誇りをもち ともに 新しい価値をつくり出す子

「振り返りを大切にすること」

校長 鳥山 真

令和6年がスタートいたしました。年末のあわただしさから解放され、少しゆったりと過ごすことができるのが正月の良いところではと思います。1年のスタートでありますので、中には「今年は〇〇を目標にしたい」など考えた子もいるのではないのでしょうか。

昨年度の1月の学校だよりで「めあてを立てる」「学習計画を立てる」ということを学校では大切にしており、見通しをもって学習に取り組むことが、主体的に学ぶことや意欲につながるということを述べました。今年は年頭に当たり、目標をもつにあたって大切な「振り返り」について考えたいと思います。

学習を含め小学校での生活を振り返ることは、子どもたちが成長し、学びを深める上で極めて重要です。充実した振り返りは、これまでの出来事から学び、新たに目標をもち、成長するために欠かすことのできないものだと思います。

振り返ることで自己理解が深まります。自分の行動や反応、成功や失敗について考えることで、自分自身の強みや改善すべき点を見つけることができます。これにより、自己評価をしたり、自信を高めたりすることができ、次の目標を設定する際に役立ちます。本校の学校教育目標の「自分を見つめ」という部分にもつながるものです。

また、振り返りは学びの機会を提供します。過去の経験から何を学んだかを考えることで、同じような状況に対処するための新しい方法やアプローチを見つけることができます。たとえ取り組みが失敗したとしても、そこから学ぶことは、成功へとつながる助けとなります。

さらに、振り返りは感謝の気持ちを育むことにもつながります。教師や友人、家族など、支えてくれた人々に感謝の気持ちを抱くことで、他者への思いやりや共感を身に付けることができます。感謝の気持ちは人間関係を豊かにし、人としての成長を促します。

振り返りの習慣を身に付けることを大切に、自己理解や感謝の気持ちを育むことで、子どもたちが新たな目標をもち、より充実した学校生活を送ることができるように努めていきたいと思っています。